



とうとう…第8波到来！

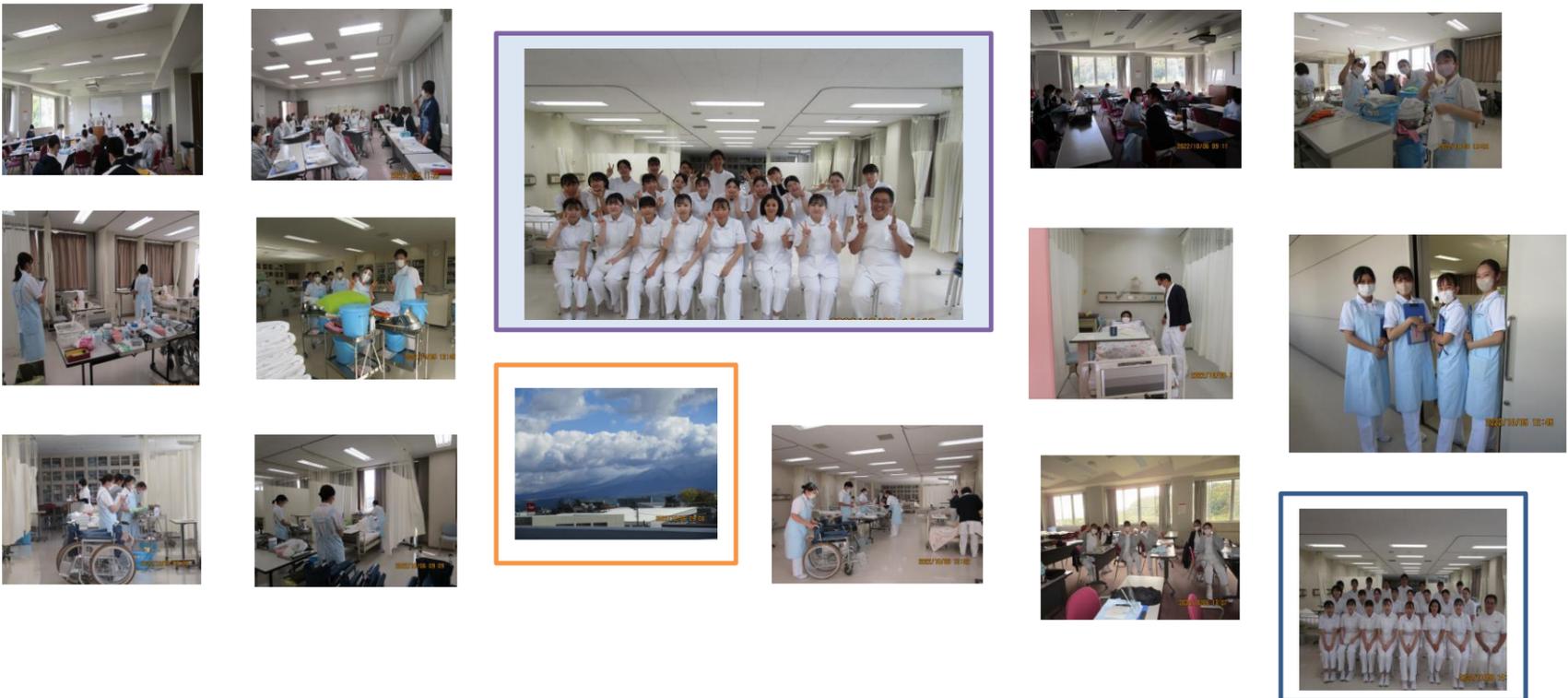
令和 2 年 2 月 23 日の日の事は忘れません。富良野市の近隣で新型コロナウイルス感染の報道がありました。中国の武漢でのこと、横浜のクルーズ船でのこと、100 年前のスペイン風邪流行のこと、すべて対岸の火事のように他人事として捉えていたところがありました。しかし、この日を境に歴史のページが音を立ててめくられた気がしました。あれから 3 年が経過し、新型コロナウイルスは変異を繰り返し、とうとう、第 8 波が到来しました。今年はインフルエンザと合わせての流行で、年末の移動によりさらに感染者が増加することが予測されています。当初より「正しく恐れる」と言われ、この 3 年間で予防対策や対応についての知識は備わり、「正しく恐れる」ことはできるようになっています。新型コロナウイルス感染症の蔓延前の看護教育、臨地実習を経験している私は、以前と現状を比較してしまいます。「今、できること」を学生の皆さんとともに大切にしながら看護を学び、深めていきたいと思っています。

第 3 (6 6) 号では、看護技術発表会、臨地実習、ケーススタディ発表の様子を紹介します。

(校長 澤田)

看護技術発表会 10 月 5 日 (水)・6 日 (木)

夏休み期間中にも毎日、看護技術の練習をおこなっていました。練習の成果を十二分に発揮できたようです。



成人看護学実習 I 10 月 10 日 (月) ~ 10 月 28 日 (金)

2 年生を代表してふたりから「成人看護学実習 I」を終えて、今の心境や今後の思いについて書いていただきました。

コロナの影響で病棟での実習が行えない可能性があった中で、先生方や病院のおかげで病棟実習を行うことができ、実際に患者さんと関わることで、個別性を考えながら援助を行う大切さやコミュニケーションの方法の工夫が大切であることを学びました。疾患を理解したうえで患者さんと関わることの重要性も学ぶことができました。

今回の学びを次の成人看護学実習 II でも生かしてより良い看護を行っていきたいです。 佐々木萌佳さん



令和 4 年 12 月 16 日撮影

今年最後の登校日で来週からは冬休みです。

今年もいろいろありましたね、来年も頑張りましょう。

成人看護学実習 I を通して、私は改めて事前学習を行うことの大切さを学んだ。事前に患者さんの疾患について理解を深めることで、個別性のある看護問題、看護計画、看護目標を立案することができ、患者さんが目指す姿に向かい援助することができた。

今回の実習で学んだことを生かし、今後の実習に向けて更に疾患についての知識を深めていき、対象の健康問題の解決に向けた関わりができるよう努めていきたい。

清水 葵生さん

基礎看護学実習 I-② 11月21日～12月2日

実習前日に臨地実習から学内実習へ変更となりました。1年生は基礎看護学実習 I-①に引き続き、2回目の実習です。

実習は学内実習となりましたが、事例患者をもとに対象とのコミュニケーションの取り方や対象に合わせた援助方法を学びました。対象の発言から対象の気持ちや心情の変化を直接的に読み取ることだけでなく、意図的に読み取ることが難しかったです。

基礎看護学実習 II では対象から必要な情報収集を行い、対象に寄り添った看護を行えるよう、日々の学習や技術練習に励んでいきたいです。
伊原 日和さん

今回の実習は急遽学内で行うことになりましたが、学内だからこそ学べたこともたくさんありました。患者さんとコミュニケーションをとりながら、情報収集するのが難しかったです。また、実際に患者さんに看護援助を行ってみて、様々な課題を明確にすることができたので、知識を身につけたり、技術練習に励んで、次の実習に臨みたいと思います。
日下 姫那さん



学内実習に変更となったため、看護技術の手浴、足浴、洗髪、清拭の実際を教員が患者さん役となり実践しました。「気持ちがよくうとうとするくらいでしたよ」と I 教員が話していました。

職業体験 10月18日(火) 富良野西中学校2年生5名の皆さんが職業体験をしました！！

- 11:00 来校 校長 welcome 挨拶
- 11:10 看護師ってどんな仕事？看護師として大切にしている事、看護教員の仕事（後藤教員）
- 11:40 富良野看護専門学校の概要（佐々木教員）
- 13:10 1年生「病態学総論」の受講体験
- 13:25 看護実習室で体験会
- 14:10～30 今日の感想や質問コーナー



5名の皆さんです



フィジコさん体験

❤️心音を聞こえた？



BABY 抱っこ体験

頭のここは大泉門といいますよ。



老人体験モデルをつけていただき、老人の体験もしました。

統合実習 10月31日(月)～11月18日(金)

5月16日(月)から3年次の領域別実習が開始となりました。新型コロナウイルス感染症の蔓延により、学内実習へ変更、臨地実習の再開を繰り返し、老年看護学実習 II、成人看護学実習 III、小児看護学実習、母性看護学実習、精神看護学実習、在宅看護論実習の18週間の実習を終え、最後の統合実習を行いました。統合実習ではグループメンバーで協力しながら、複数の患者さんを受け持たせていただき看護を展開することができました。患者さんへの看護援助の経験が少なく、戸惑うこと、思っても言葉が出なかったり、行動できないこともあったと思います。実習開始から終了まで予定通りに臨地実習を体験することができたことに「ほっ」としました。

コロナ禍で看護学校生活が始まり、3年間を通して病棟実習が学内実習に置き換えることが多くありました。しかし、そのような状況でも、3年間でたくさんの知識・技術を身につけることができました。統合実習では、その身につけた知識・技術を存分に生かし看護することができ、自分の成長を実感できた実習でした。これからは、国家試験全員合格を目標に勉強を頑張ります。
及川 舞さん

統合実習、ケーススタディの発表会を終え、残りは看護師国家試験のみとなりました。現在に至るまであっという間にすぎましたが、国試までの期間は今まで以上に早く過ぎ去ってしまうのではないかと思います。当日までの2か月間ですが、27期生全員合格して、笑顔で卒業を迎えられるよう、気を抜かずこれからも勉強、頑張りたいと思います。
立山 愛美さん

ケーススタディ発表会 12月7日(水)・8日(木)

3年次で体験した成人看護学実習、老年看護学実習、小児看護学実習、精神看護学実習、在宅看護論実習の実習を通して、看護実践過程を振り返りケーススタディとしてまとめ、発表いたしました。制限時間での発表の仕方を得た質問とそれに対する対応、ケーススタディに対する丁寧な論評から3年間の成長を実感しました。コロナ禍で臨地実習の機会が少なかったり、演習や行事も体験できないこともありましたが、皆さんは経験を積み重ね、「患者さんに必要な看護、患者さんの思いを受け止め、患者さんに寄り添った看護を」と、患者さん中心の「看護師」のまなざしでした。



次回の発行は3月6日、27期生の卒業式特集号です。